



片原町店 提供品受付×

〒760-0040 高松市片原町9-1
TEL 087-822-3552
営業時間 月～金 10時～18時
土・日・祝 10時～17時

安価な日用品雑貨やおもちゃなどから高級食器やかばんなど、多彩な商品を置いています。商品替えも頻繁に行っていますので、常に新しい商品が並んでいます！

高松店 提供品受付○

〒760-0055 高松市観光通1-1-18
TEL 087-861-9928
営業時間 月～金 10時～16時
定休日 土・日・祝

片原町店に比べお店は小さいですが、豊富な種類の商品たちが所狭しと並んでいます。掘り出し物が見つかるかも！

松縄店 提供品受付○

〒760-0079 高松市松縄町37-5
TEL 080-4999-0494
営業時間 月～水 11時～19時
土・日 11時～18時
定休日 木・金・祝

雑貨屋に置いてあるようなかわいい雑貨や食器、また、着物、レトロ衣類など、少し通好みな商品も多数そろえています！

公益社団法人セカンドハンド

本部事務局
〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18 TEL&FAX:087-861-9928
E-MAIL:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp WEB:http://2nd-hand.main.jp/



SEKONDO HAND 公益社団法人セカンドハンド

Charity Shop

セカンドハンドは「チャリティーショップ」と呼ばれるお店を
1994年の設立当初から運営し、
その収益でカンボジアの支援をしています。

Q

社会貢献活動
ってどんなこと？

カンボジアの貧しい人々のために

社会の利益に役立つ活動を言います。
福祉・保健・医療、教育、地域社会、地域環境、国際など、分野は多岐に渡ります。
セカンドハンドは、収益をカンボジアの貧しい人々のために使っています。

Q

チャリティー
ショップって？

収益は社会貢献活動に

家庭で出る不用品を寄付として提供していただき、
それらを無償のボランティアスタッフの力を借りて販売し、
その収益を社会貢献活動に充てるお店です。

Q

リサイクル
ショップと
違うところは？

商品は無償で 寄付された不用品

チャリティーショップは非営利団体が運営し、
ボランティアスタッフが支えています。
また、商品は不用品を寄付として
無償で受け取った物です。

Q

どんなものを
売っているの？

衣類・食器・本…

セカンドハンドでは、「きれいだけど使わない物」
「使えるのに使っていない物」を
提供品として受け付け、商品として扱っています。



セカンドハンドの チャリティーショップ

片原町店



高松店



松縄店



セカンドハンドのあゆみ

1994

国際協力団体
「セカンドハンド」を
設立

日本初のチャリティー
ショップをオープン！



1996



カンボジアで
小学校校舎の
建設支援スタート

2000

特定非営利
活動法人の
認定取得

2001

セカンドハンド
高松店開店

2002



カンボジアで孤児院支援
(フォスターペアレント制度)を
スタート

2003



カンボジアで
医療施設建設支援を
スタート

2004

セカンドハンド
片原町店開店

2010

公益社団法人の
認定取得

税制面で優遇措置を
受けられるように
なりました！



2012



カンボジアで奨学金支援
(スカラーペアレント制度)を
スタート

2017

セカンドハンド
松縄店開店



設立から25年。活動を支える多くの人々が時間や品物、お金を提供することによって、カンボジアや世界の
人々へたくさんの笑顔を届けることができています。

教育
支援



子ども達に学ぶ機会を

SECOND
HAND

医療
支援

SECOND
HAND



人々の命を守るために

孤児院
支援

SECOND
HAND



子ども達に未来を



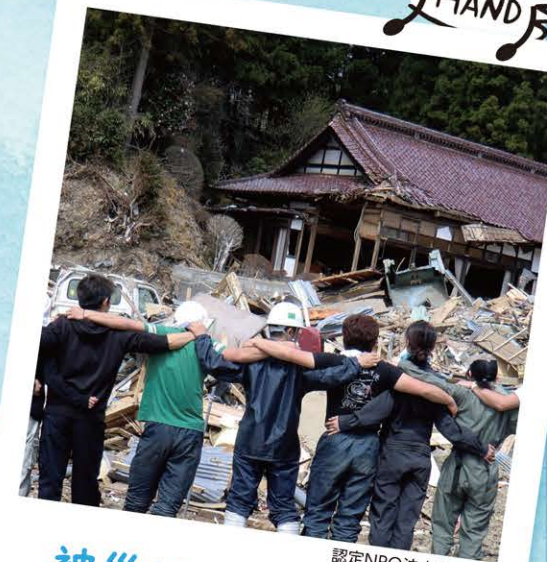
女性達に自信と希望を

SECOND
HAND

自立
支援

緊急
支援

SECOND
HAND



被災地へ心を寄せて
認定NPO法人IVY提供

人材
育成

SECOND
HAND



未来への種まき

各活動の詳細は次ページ▶

セカンドハンドの 6つの取り組み

教育支援

学校建設支援

セカンドハンドはこれまで23棟の学校建設を行ってきました。(2019年現在)教育の質の向上はカンボジアが抱える課題を解決できる「人」を育てる土台となります。



奨学金支援・スカラーペアレント制度

プノンペン市センソック地区に住む、貧しくて学校に通い続けることが困難な中学・高校生の高校卒業までの奨学金支援をしていただく制度です。支援金は、生徒の学費、教科書代、制服、英語などの特別レッスン代にあてられます。

開始時期	10月(受付期間は4月～8月)
報告	生徒のレポートや成績表が年2回届きます
交流	手紙や写真を届けること、面会も可能です(実費負担)
一人当たり支援額	年間合計36,000円(月々3,000円)

医療支援

医療施設建設



貧困地域に医療施設の建設支援を行ってきました。施設を拠点に結核や性病に関する衛生教育や、伝染病の予防接種も行えるようになり、病気による貧困の悪循環を断ち切る役割も担っています。

ファーストエイド(応急処置)の普及【2007年～2015年】



日本から救急車や医療器材の輸送、現地での専門家派遣やファーストエイドのワークショップ、現地の医師らの来日研修を実施しました。

孤児院支援

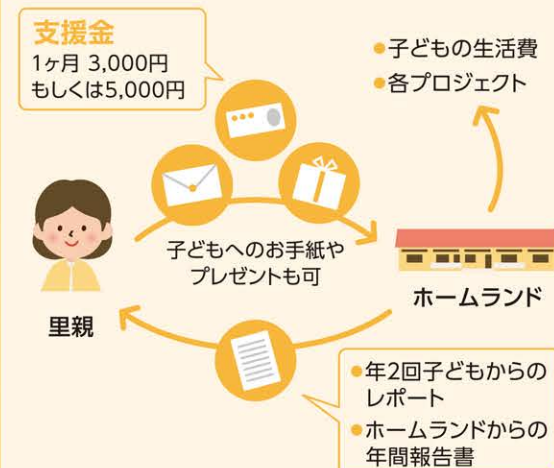
里親制度・フォレスターペアレント制度

現地NGOホームランドが支援する子どものフォスターペアレント(里親)となって支援をしていただく制度です。支援金は子ども達の生活費、教育費、親への支援、ホームランドの運営費にあてられます。



開始時期	4月と10月の年2回
報告	子どものレポートが年2回、ホームランドの年次報告書が年1回届きます
交流	手紙や写真を届けること、面会も可能です(実費負担)
一人当たり支援額	年間合計36,000円(月々3,000円)、もしくは60,000円(月々5,000円)からお選びいただけます

フォスターペアレント制度とは？



自立支援

職業訓練プロジェクト【2002年～2006年】

スヴァイリエン州で職業訓練センターを建設し、指導者の育成、約180台の足踏みミシンの輸送、3年間の運営費支援を行いました。卒業生達の多くは縫製工場に就職するなど女性達の自立につながっています。



フェアトレード事業

現地NGOラチャナ・ハンディクラフトで、女性達が一つ一つ丁寧に作っているクラフト品をフェアトレード商品として日本で販売、商品開発も共同で行っています。

フェアトレードとは？



原料や製品を適正な価格で継続的に購入することで、立場の弱い途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す貿易のしくみのこと。



緊急支援

主な支援

カンボジアに限らず、国内外で災害等が発生した際には、緊急支援として寄付金を募り、被災者の支援を行っています。

阪神淡路大震災(1995年)、東日本大震災(2011年)、熊本地震(2016年)、エクアドル地震(2016年)、九州北部豪雨(2017年)、グアテマラ共和国フエゴ火山噴火災害(2018年)、北海道胆振東部地震(2018年)、西日本豪雨災害(2018年)



人材育成

講師派遣



学校や団体などからの講演やワークショップの依頼に応じ、セカンドハンド職員・理事を講師として派遣しています。

体験学習の受け入れ

小～大学生や社会人のボランティア体験、インターンの受け入れを行っています。国際協力、ボランティア活動、職場体験など様々な学習テーマに合わせたプログラムを作成し、国際協力につながる活動を体験・学ぶことができる機会を提供しています。

セカンドハンド・ユース

セカンドハンド・ユースは2003年に設立したセカンドハンドの学生部です。香川県内の大学生が主体となり、街頭募金活動やイベント、勉強会等を開催して資金を集め、貧しくて学校に通うことができないカンボジアの学生に奨学金支援を行っています。

